



全国大会 熊本大会に参加して

National Convention in Kumamoto.

長生夷隅支部
井桁 正昭



熊本大会は3年ぶりに開催された全国大会です。

ようやく新型コロナの猛威がいくらかの鎮静に入り、大会実行者としても決断されたのだと思います。さぞ御苦心の多い運営であったと拝察いたします。

開催場所は熊本城に隣接する熊本城ホール ラソールガーデン・熊本です。大会テーマは「大自然の脅威に耐えて今そして未来へ」でした。

6年前、平成28年4月14日の夜、そして2日後の未明に本震が来ました。震度7でした。各地に大きな被害をもたらし、多くの方が犠牲となりました。この大会のテーマは、この自然の脅威を受容し、未来へ向って力強く歩もうとする気概を表したものでしょう。

会場となった熊本城ホールは、真新しさから近代建築の魅力にあふれる複合建築でした。街の中心部であるこの場所は、もとよりバスターミナルがあったそうで、1階はよく整えられたバスターミナル、繁華街に面しては大規模な集合店舗、そして背後に会場となった熊本城ホールがあります。

この建築は6年前に着工したものであり、杭工事に着手したまさにそのとき、大きな揺れが襲って来たのです。工事は中断され、まちは大きく破壊されました。工事の再開に当たっては、杭から構造強度を見直したと聞きました。かりそめにも建築に携わる私のようなものでも、その時の関係者の気苦労はいかばかりであったろうと思います。

本大会において、前会長 金子康男様、年次功労者表彰 受賞おめでとうございます。

大会の内容については、各所から報告が出ていますので、割愛いたします。



翌日も天候に恵まれ、熊本城周辺を散策いたしました。路面電車の車窓から、千葉とはまた違う熊本の景色を堪能しました。急ピッチで進められるお城の修繕で、もはやあの地震直後の痛々しい姿はありませんでした。

この日、熊本をあとにし、帰路につきました。



後記

今後コロナ渦の終息に伴い、全国大会も順次行われるものと思います。

次回は島根、鳥取両県の共同開催です。まだ参加していない方の参加をお待ちしています。必ず得るものがあります。ぜひ日本海の幸で乾杯しましょう。